

■ナイジェリア：ガスパイプライン破裂による供給力不足で計画停電を実施

2018年6月21日の現地報道によると、6月15日にガス公社（NGC）所有のガスパイプラインの破裂を原因とし、Shell社の運営するガス田の供給に問題が発生し、国内6カ所のガス火力発電所へのガス供給が滞った。その結果、前日には399万kWであった同国の供給力は、約109万kWの供給力が脱落し、ナイジェリア送電会社（TCN）は系統維持のため計画停電を実施した。ガス供給は徐々に復旧され、6月19日には、電力供給力は388万kWにまで回復している。同国では2018年1月にもパイプラインの損傷による供給力不足が発生しており、その際は系統全停にまで至った経緯がある。